

ほほえみ



社会福祉法人苫前町社会福祉協議会 苫前郡苫前町字旭37番地の1 苫前地区コミュニティセンター内
TEL 0164-64-2387 FAX 0164-64-9090 ホームページ <https://www.protech-web.co.jp/homepage/tomamae>

紅白まんじゅう配布事業 (赤い羽根共同募金助成事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に引き続き、苫前町敬老会の開催を中止するとともに、代替事業として紅白まんじゅうの配布を9月15・16日に実施しました。

町内会や老人クラブ、民生委員をはじめとした総勢51名のボランティアの協力の下、75歳以上の在宅高齢者を対象に、628個が配布されました。

紅白まんじゅうには、「敬老の日にあたり、皆様のご長寿を心よりお祝い申し上げます。今後も新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して参りますとともに、皆様がこれからもお元気で毎日を過ごされますよう、更なるご健勝とご多幸をお祈り申し上げます」との富士町長からのメッセージが添えられました。



町身障協会リンゴ狩り (赤い羽根共同募金助成事業)



9月27日、苫前町身体障がい者福祉協会(林道行会長)主催のリンゴ狩りが、会員はじめ17名の参加をいただき、増毛町パイヤの里富野果樹園にて実施されました。

天候に恵まれ、好天の下でのリンゴ狩りを楽しむことができました。また、売店ではリンゴ以外にも梨やプルーンなどを購入

し、秋の果物を堪能しました。

昼食は、少し足を伸ばして沼田町のほろしん温泉ほたる館でいただき、温泉を楽しんだ方も。最後は道の駅おびら鯨番屋に立ち寄り、秋の楽しい一日を過ごし、交流を深めることができました。

留萌地区老連ニュースポーツ交流会

10月14日、留萌地区老人クラブ連合会主催のニュースポーツ交流会が初山別村自然交流センターにて開催されました。

第1回目となる今回は、管内各町村から全13チームが参加し、本町からは2チーム14名が参加しました。交流会の競技種目であるラダーゲッターですが、未経験の参加者が多かったため、練習会を3回実施して本番に臨みました。結果は5位と12位でしたが、参加者の皆さんには、「みんなで楽しく運動ができた」と大変喜んでいただけました。



第3回ふれあい倶楽部を開催しました

10月6日、今年度第3回目のふれあい倶楽部を開催しました。

26名の参加があり、午前中は西川加代子さんに講師を務めていただいていたのパステル和(なごみ)アートを楽しみ、午後からは健康運動指導士の中島まなみさんを講師に迎え、「椅子に座りながらできるヨガ体操」と題して、自宅でも一人でもできる運動を学びました。新型コロナウイルス感染症により家に引きこもりがちなることを懸念して、認知機能にも効果がある脳トレ運動も取り入れていただき、参加者は混乱しながらも楽しんでいる様子でした。

なお、次回のふれあい倶楽部は12月8日に開催の予定で、恒例の「お正月飾り」づくりと「ふまねっと運動」を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



赤い羽根共同募金運動のお知らせ

第75回の赤い羽根共同募金運動が、今年も10月1日からスタートしています。

今年度、苫前町共同募金委員会では目標額を1,024千円と定めていますが、コロナ禍で何かと厳しい状況の中、例年同様、町内会や学校をはじめ、たくさんの企業・事業所の皆様にご支援、ご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

引き続き、寄付金付きご当地ピンバッジの頒布に加え、劇場版「呪術廻戦0」とのコラボクリアファイルを募金300円につき1枚進呈するなどの取組も行っていきますので、よろしく願いいたします。

10月25日までに、5千円以上の募金をいただいた企業・事業所様をご紹介します。ありがとうございました。



©2021「劇場版 呪術廻戦 0」製作委員会
©芥見下々/集英社

（肉猪股石油店、北るもい漁業協同組合苫前支所、協和建設㈱、苫前クリニック、苫前歯科診療所、橋場産業㈱、留萌信用金庫古丹別支店、留萌信用金庫苫前支店、るもい農業協同組合苫前支所 ※順不同、敬称略

なお、12月から1か月間は、全国一斉に「歳末たすけあい運動」も実施されますので、そちらへの協力も併せてよろしくお願いいたします。

北海道護国神社慰霊参拝（赤い羽根共同募金助成事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度も北海道護国神社慰霊大祭への参拝ができなかったことから、苫前町遺族会（森晃一会長）では、10月15日に、町遺族会単独での慰霊参拝を実施しました。



会員8名の参加があり、御本殿に参内の上、塩野谷宮司による祝詞奏上、巫女の神楽舞の奉奏をいただきました。

当日は、雲ひとつない秋晴れの空の下、清々しい雰囲気の中で慰霊の祈りを捧げることができ、また、御本殿に参内するのは初めてという会員の方もおられ、親しく会員同士の交流も深めることができました。

まちなかサロンが開催されました

まちなかサロンが9月、10月と開催され、無事に今年度の事業を終えました。

9月21日の第3回目では、社会教育課の安藤司書と長野主査をお迎えして、脳トレ問題やパネルシアター、DVDを見ながらの口腔体操などに加え、トロンボーン演奏を披露していただき、その音色に合わせて歌を歌うなどして楽しみました。

今年度最後となる10月19日の第4回目では、冒頭、富士町長からご挨拶をいただいた後、北留萌消防組合消防署苫前支署から古谷消防士、古丹別支署から逢坂消防士をお迎えして、防災についての講話と応急処置の方法について教えていただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の開催回数は少なくなりましたが、多くの方にご参加いただきありがとうございました。次回は来年5月に開催の予定ですので、皆様のご参加をお待ちしています。



除雪ボランティアを募集しています！

社協では、高齢者や障がいのある方を対象に、通院や買い物などの外出時に支障となる、道路に面した住宅の出入口（間口）と玄関先までの通路（敷地内）を有償ボランティアが除雪する福祉除雪事業を実施します。

この事業は、単に除雪を行うだけでなく、利用世帯の方の見守りにも繋がる活動となっています。

今冬の事業活動に、有償ボランティアとしてご協力、ご参加いただける個人や団体、企業の方を次のとおり募集しますので、ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

○活動内容（予定）

活動期間	令和3年12月1日(水)～令和4年3月31日(木)
除雪日時	道路除雪が行われた日の12時(正午)ころまで(原則1日1回)
除雪範囲	間口は幅1m50cm、敷地内は歩行に支障のない幅80cm
担当世帯	1世帯から可。1世帯の除雪を複数の方で担当いただくことも可。

○活動費 活動期間の1月ごとに、作業1時間につき1,200円を支払います。
(確認のため、作業日報を作成いただきます)